

報道関係者各位

2014年12月8日
くすりの適正使用協議会

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを前に、全国の調剤薬局での外国人患者対応に関する調査を実施 -

日本人患者に比べて外国人患者とのコミュニケーションが 出来ていないと感じる薬剤師は66%

- 外国人患者の対応頻度は、月に一回以上が54%。
- 薬局に外国語対応可能なスタッフがいないと回答した薬剤師は78%、外国人患者対応に不安を感じる薬剤師は88%
- 93%の薬剤師が、外国人患者対応時に参考にする英語の医薬品情報が無いと回答

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、約80万人の外国人観光客が来日すると予想されています。国は、日本語が出来ない外国人が医療機関で安心して治療を受けるために不可欠な医療通訳の充実に向けて動き出し、医療通訳の拠点病院をはじめとした態勢整備を急いでいます。また大会組織委員会*では、観戦に訪れる外国人に対し、滞在期間中は公的機関による救急医療サービスを無償で提供する方針を打ち出しました。

今回、くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、理事長：黒川達夫）は、全国の調剤薬局に勤務し、外国人患者に対応したことのある薬剤師を対象に、外国人患者への対応状況について調査を実施しました。

調査結果から、月に1回以上外国人患者への対応を経験している薬剤師が5割に上る一方、対応に不安をもち、充分にコミュニケーションが出来ないと感じる薬剤師が多く、また対応時に参考となる英語の医薬品情報が不足していました。このことから、外国人患者への情報提供および薬学的知見に基づく指導が十分にできる環境にはなく、2020年に向けて、英語版医薬品情報の早急な整備の必要性を示唆する調査結果となりました。

*一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

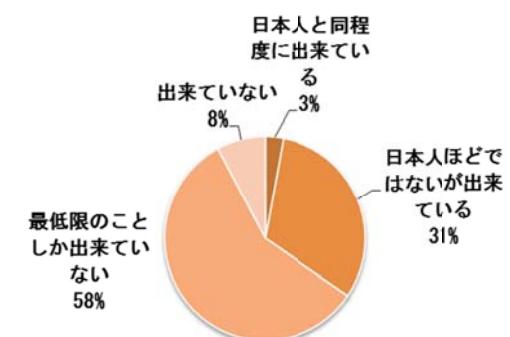
■ 外国人患者の実態

- 薬剤師が対応したことのある外国人患者の国籍は中国が最多だが、米国・欧州圏・フィリピン・インドなど、英語でコミュニケーションが取れる国が多い
- 外国人患者の対応頻度は、月に1回以上が54%、月に3回以上が32%

■ 外国人患者とのコミュニケーションが出来ておらず、薬剤師自身もコミュニケーション不足を自覚

- 薬局に外国語対応可能なスタッフが「いない」と回答した薬剤師は78%
- 外国人患者への対応に不安を「少し感じている」「感じている」薬剤師が計88%
- 日本人患者と比較した場合の外国人患者とのコミュニケーションは、「最低限のことしか出来ていない」「出来ていない」薬剤師が計66%（右図）
- 薬を服用することでの副作用等の不安や悩みがないかの確認は、「全くしていない」「あまりしていない」薬剤師が計63%

日本人患者と比べて、外国人患者とは、どの程度コミュニケーションができていると思いますか？
(ひとつだけ)



■ 必要とされている英語版医薬品情報

- 94%の薬剤師は、英語版医薬品情報が必要
- 93%の薬剤師は、参考にする英語版医薬品情報がない
- 参考にしている英語版医薬品情報があると回答した薬剤師（28人）のうち、英語版「くすりのしおり®」を活用している薬剤師は36%
- 英語を話せる外国人患者に対し、英語版「くすりのしおり®」が役立つと考える薬剤師は、「思う」「少し思う」が計95%

■ 調査概要

調査方法：インターネット調査（株式会社マクロミル）

実施期間：2014年10月14日(火)～2014年10月17日(金)

調査対象者：全国の調剤薬局で外国人患者対応をしたことのある薬剤師 408名

■ 「くすりのしおり®」について

「くすりのしおり®」は、個々の医療用医薬品について、患者さんに分かりやすい表現を用い必要最低限の情報をA4版1枚にまとめた薬の説明書です。医療関係者と患者さんの間のコミュニケーションツールとして、製薬企業が作成し、日々更新している正確で信頼性の高い情報です。

2014年11月末現在、日本語版14,047種類（医療用医薬品の約7割を網羅）、英語版3,919種類（順次追加中）を掲載しており、2年前に比べ英語版の掲載数は1.9倍増となりました。

■ くすりの適正使用協議会について

くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989年に研究開発指向型製薬企業11社によって設立されました。

創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり®」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。

2012年度からはキーコンセプトを「医薬品リテラシー*の育成と活用」と定め、活動を行っています。

*医薬品リテラシー：医薬品の本質を理解し、医薬品を正しく使用する能力

【製薬企業会員】

アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) アッヴィ(同) エーザイ(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株) 協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株) サノフィ(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株) 武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 東和薬品(株) 日本新薬(株) ノバルティス ファーマ(株) ノボ ノルディスク ファーマ(株) マルホ(株) Meiji Seika ファルマ(株) (22社)

【賛助会員】

シミック株式会社 (1社)

【個人会員】

大野 善三（医学ジャーナリスト） 三輪 亮寿（弁護士） 古川 隆（医薬品コンサルタント） (3名)

協議会ホームページ: <http://www.rad-ar.or.jp> 「くすりのしおり®」ページ: <http://www.rad-ar.or.jp/siori>

— 本件に関するお問い合わせ —

くすりの適正使用協議会 担当：梅田/安井

Tel : 03-3663-8891 Fax : 03-3663-8895 Mail : info@rad-ar.or.jp

調剤薬局での外国人患者への 対応に関するアンケート ＜調査結果＞



2014年12月8日

くすりの適正使用協議会



調査概要

調査目的:

調剤薬局における、外国人患者への処方箋対応の実態を明らかにすることを目的に、来訪する外国人患者、および薬剤師の対応と、対応ツールの実態についてオンライン調査を行った。

■調査方法

インターネットリサーチ(株式会社マクロミル)

■実施期間

2014年10月14日(火)～2014年10月17日(金)

■調査対象者

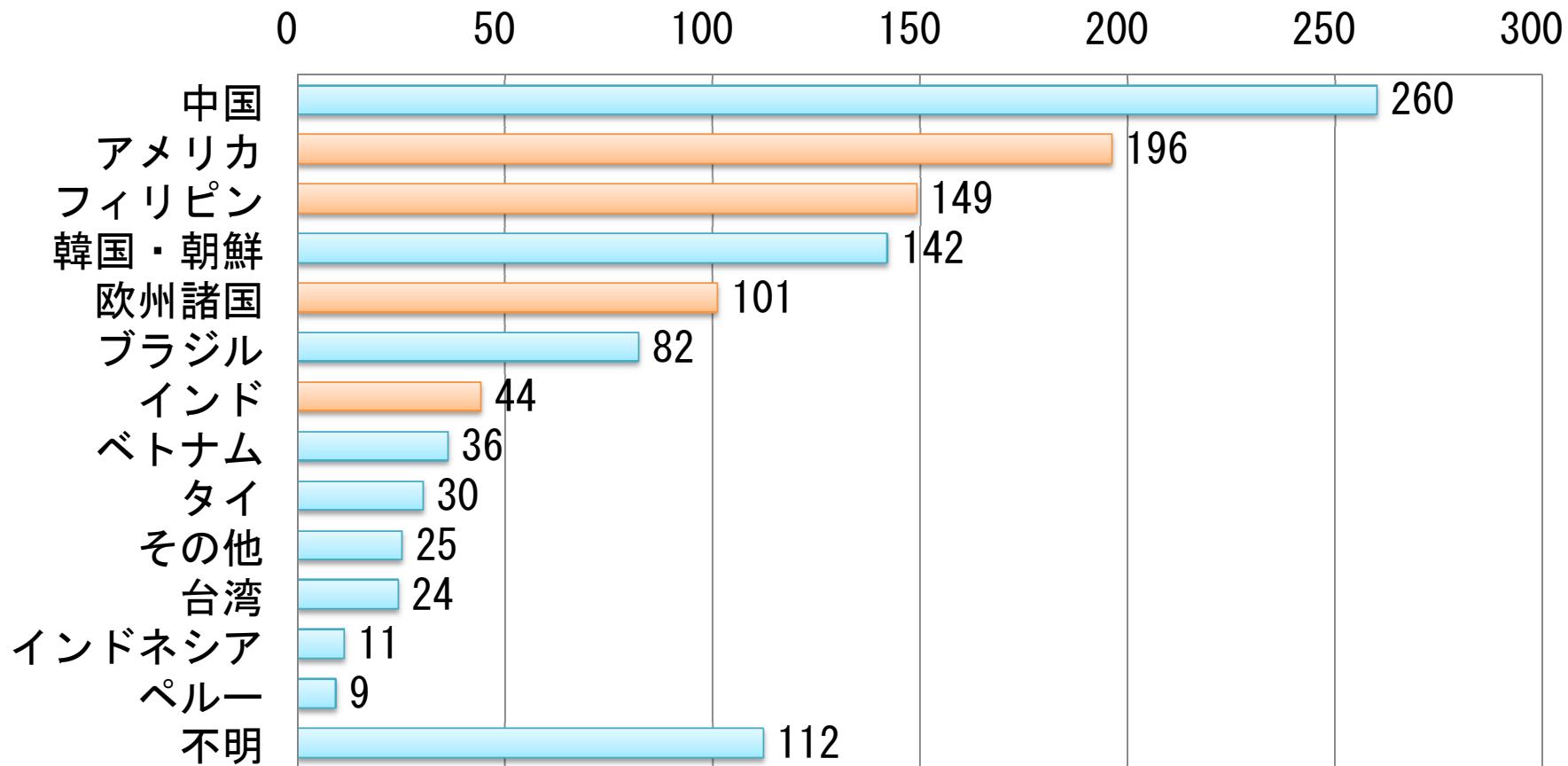
全国の調剤薬局で外国人患者対応をしたことのある薬剤師 408名

外国人患者の実態

薬剤師が対応したことのある外国人患者の国籍は中国が最多だが、米国・欧州圏・フィリピン・インドなど、英語でコミュニケーションが取れる国が多い

今まで対応したことのある外国人患者の国籍を教えてください。
(複数回答可)

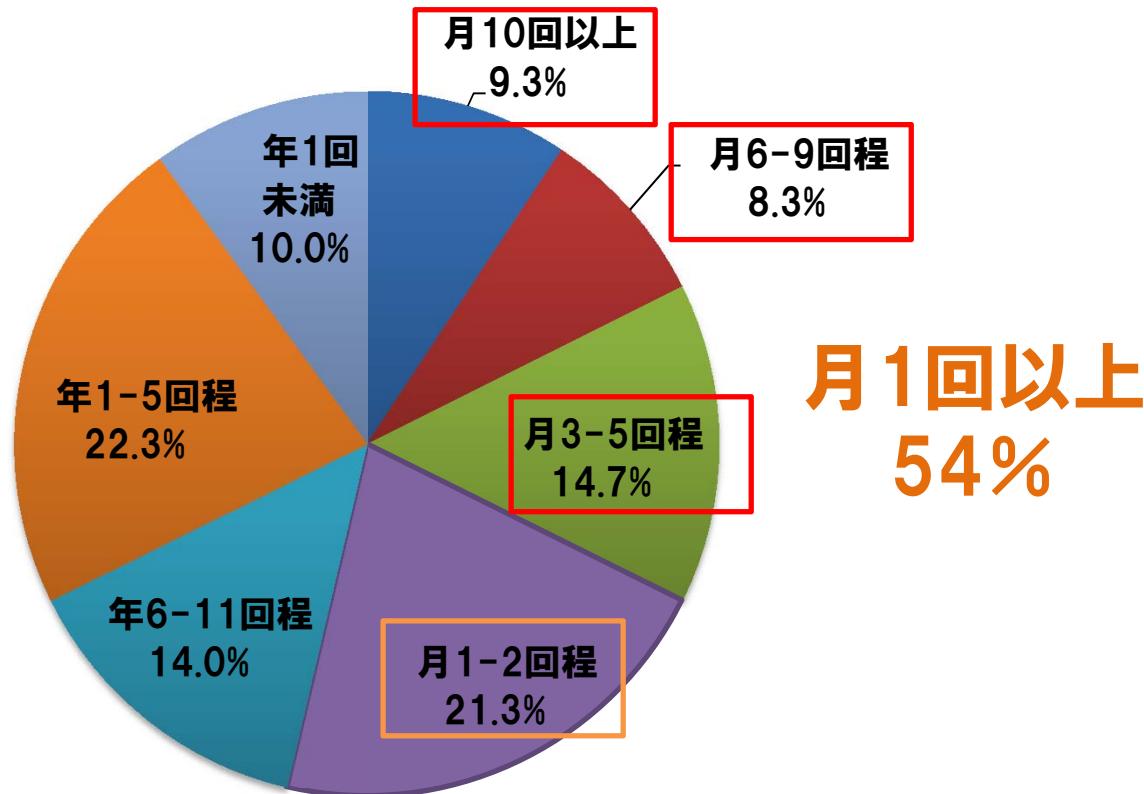
n=408



外国人患者の対応頻度は、月に1回以上が54%、月に3回以上が32%

あなたの勤める調剤薬局には、外国人患者が平均して
どの程度来ますか？

n=408

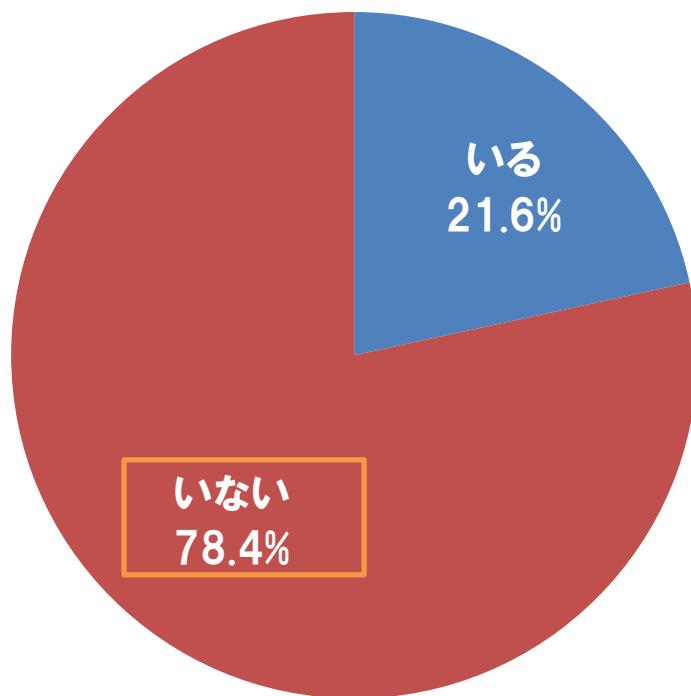


外国人患者への対応

薬局に外国語対応可能なスタッフが「いない」と回答した薬剤師は78%

勤務している調剤薬局に、外国語に対応できるスタッフが
いますか？

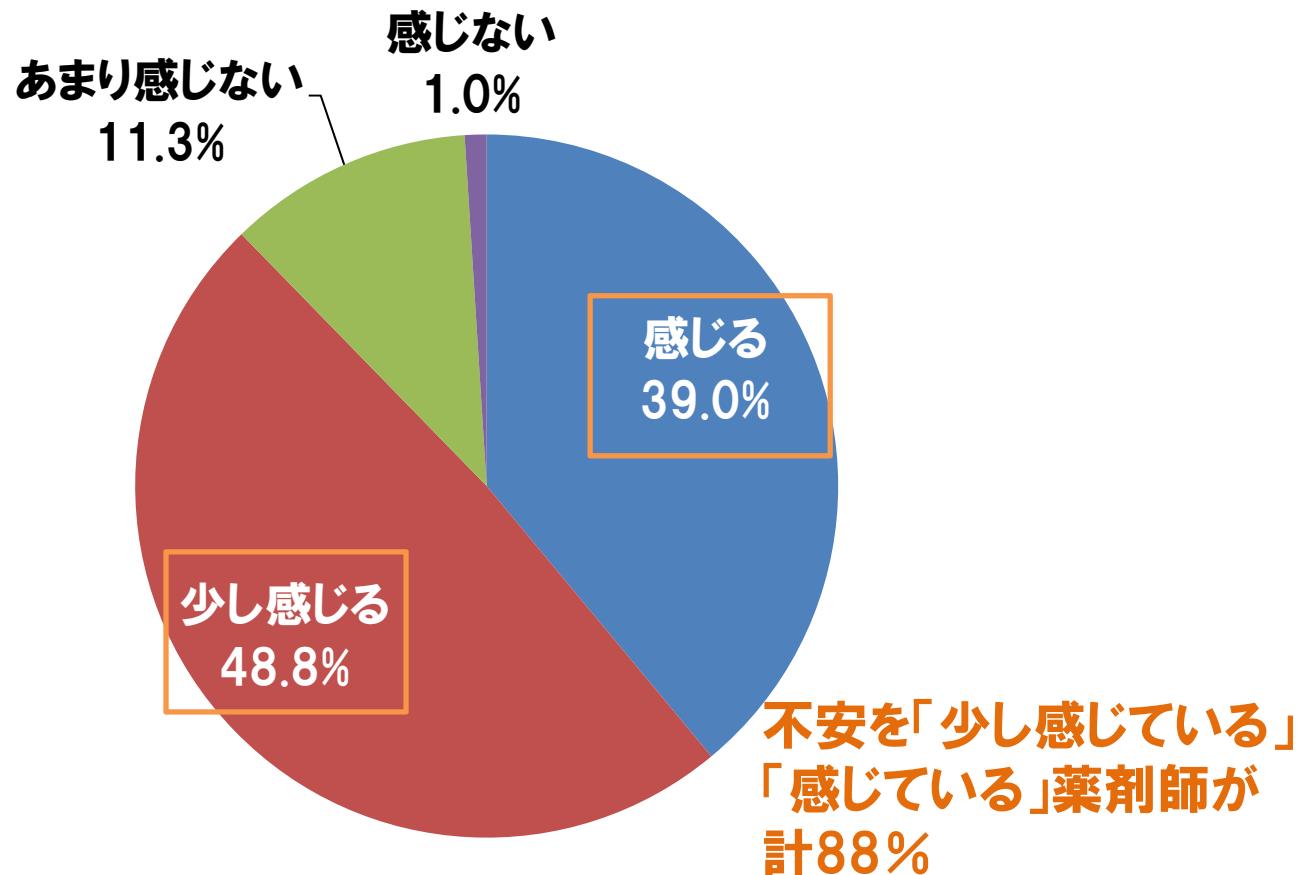
n=408



外国人患者への対応に不安を 「少し感じている」「感じている」薬剤師が計88%

外国人患者への対応に不安を感じることはありますか？

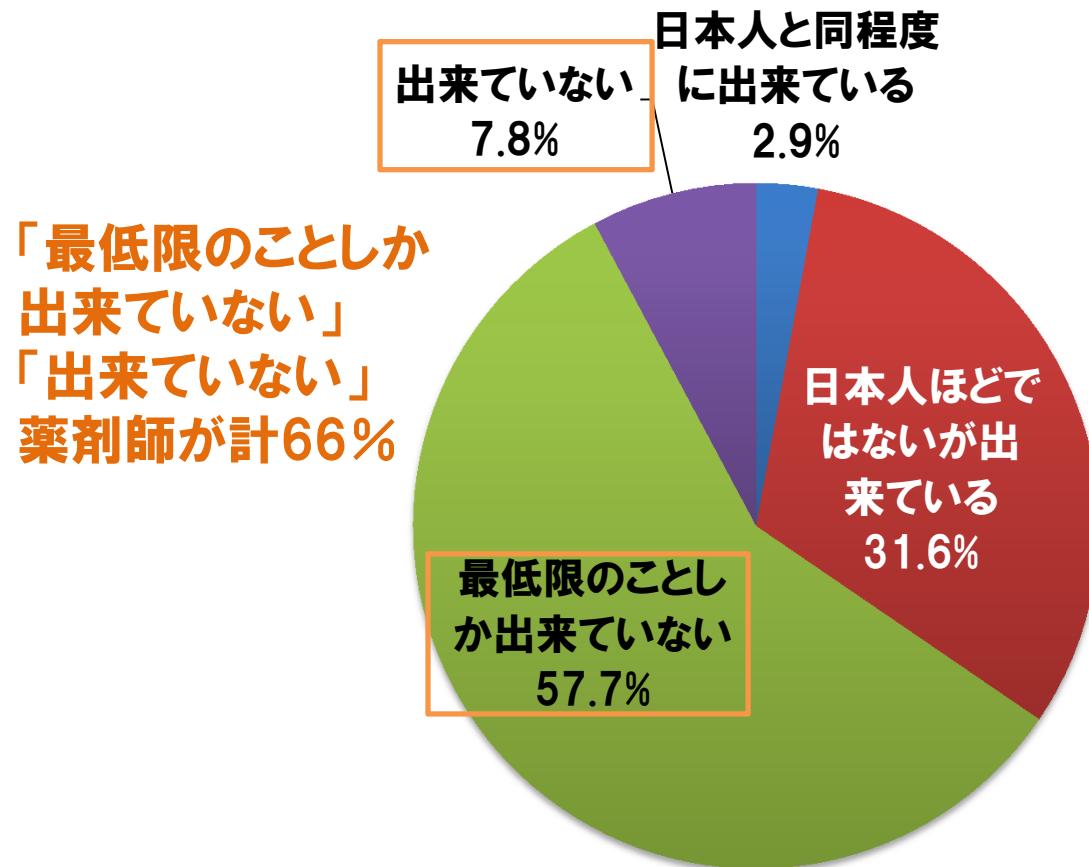
n=408



日本人患者と比較した場合の外国人患者とのコミュニケーションは、「最低限のことしか出来ていない」「出来ていない」薬剤師が計66%

日本人患者と比べて、外国人患者とは、どの程度
コミュニケーションができていると思いますか？

n=408

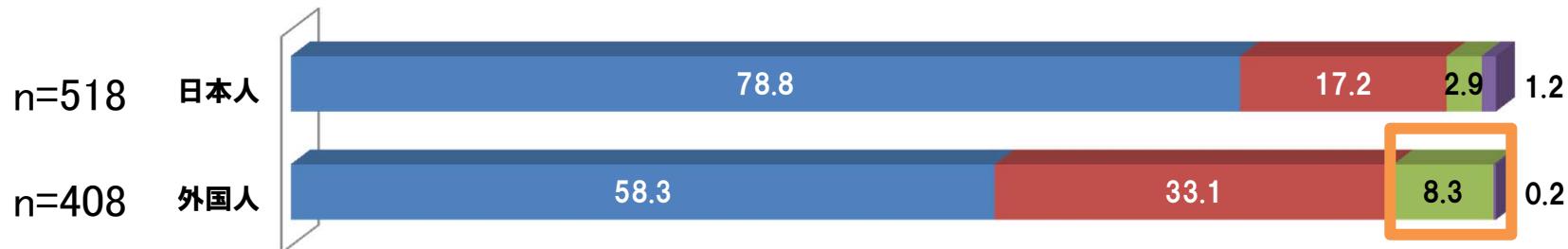


薬を服用することでの副作用等の不安や悩みがないかの確認は、「全くしていない」「あまりしていない」薬剤師が計63%

*日本人患者への対応データ(518名)は、協議会が2013.12～2014.1に実施した薬剤師向けWEB調査結果より引用

1. 処方された薬の説明をしている(服用時の注意事項、効能・効果等)

■よくしている ■時々している ■あまりしていない ■全くしていない



2. 薬を服用することでの副作用等不安や悩みがないかを聞いている

■よくしている ■時々している ■あまりしていない ■全くしていない



「全くしていない」「あまりしていない」薬剤師が計63%

くすりの適正使用協議会

RAD·AR[®]

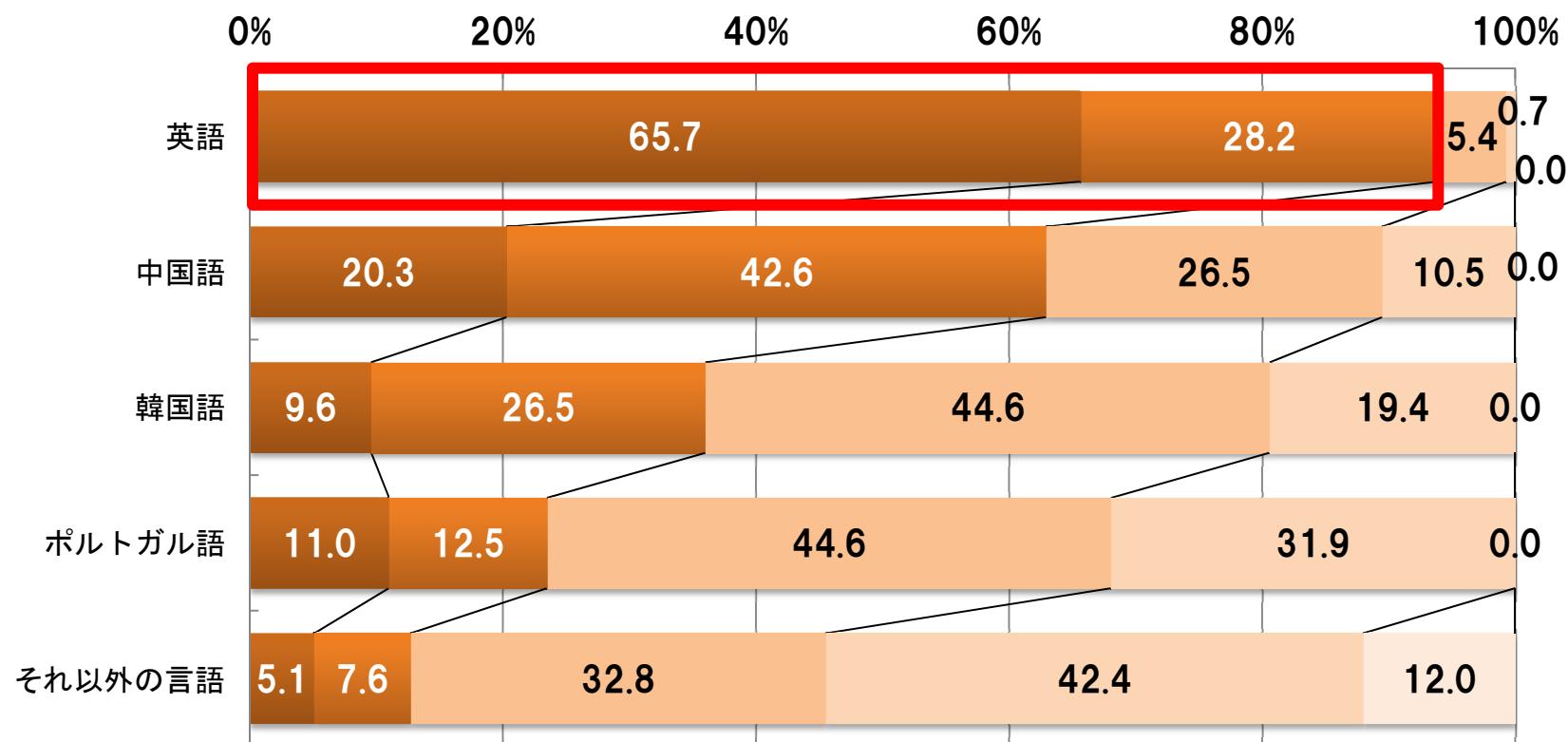
外国人患者への対応ツール

94%の薬剤師は、英語版医薬品情報が必要

下記の外国語の医薬品情報は必要だと思いますか？

■思う ■少し思う ■あまり思わない ■思わない ■無回答

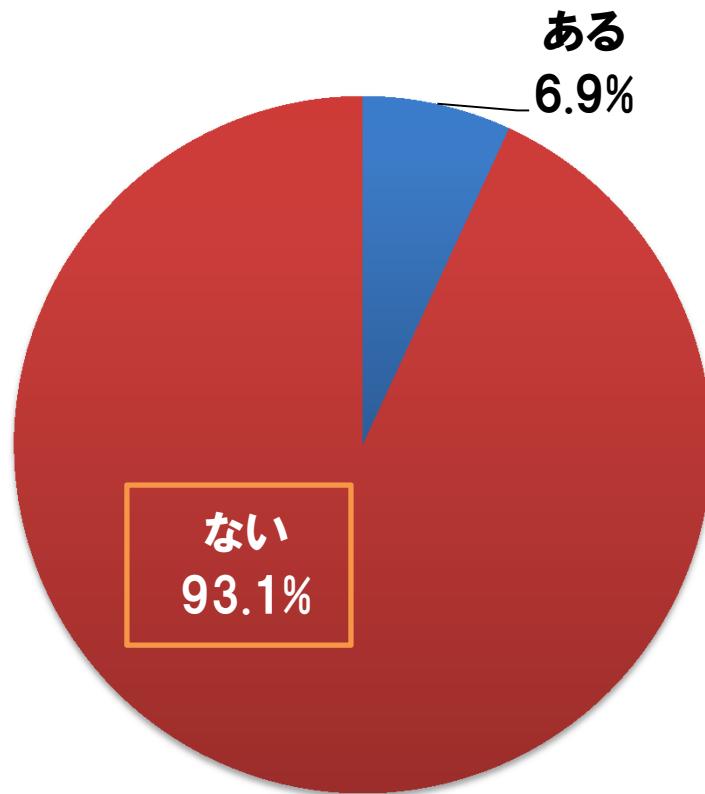
n=408



93%の薬剤師は、参考にする英語版医薬品情報がない

外国人患者に対して、参考にしている英語の医薬品情報が
ありますか？

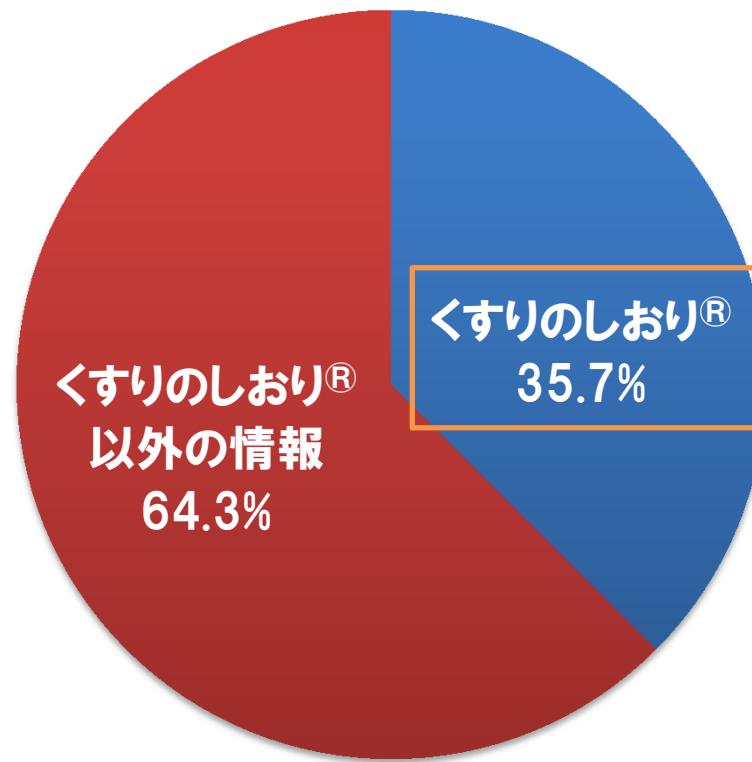
n=408



参考にしている英語版医薬品情報があると回答した薬剤師(28人)のうち、
英語版「くすりのしおり®」を活用している薬剤師は36%

参考にしている英語の医薬品情報

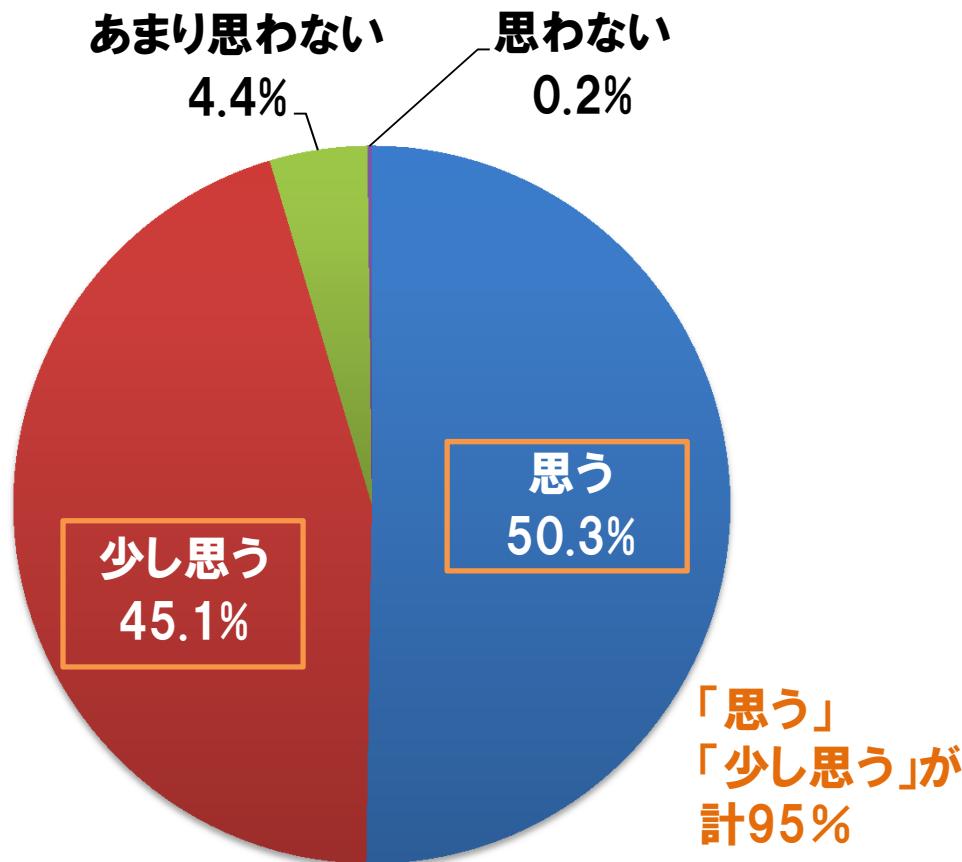
n=28



英語を話せる外国人患者に対し、英語版「くすりのしおり®」が役立つと考える薬剤師は、「思う」「少し思う」が計95%

英語版「くすりのしおり®」を用いることは、英語を話せる外国人患者に対し服薬指導する上で役に立つと思いますか？

n=408



【参考】

英語版くすりのしおり®

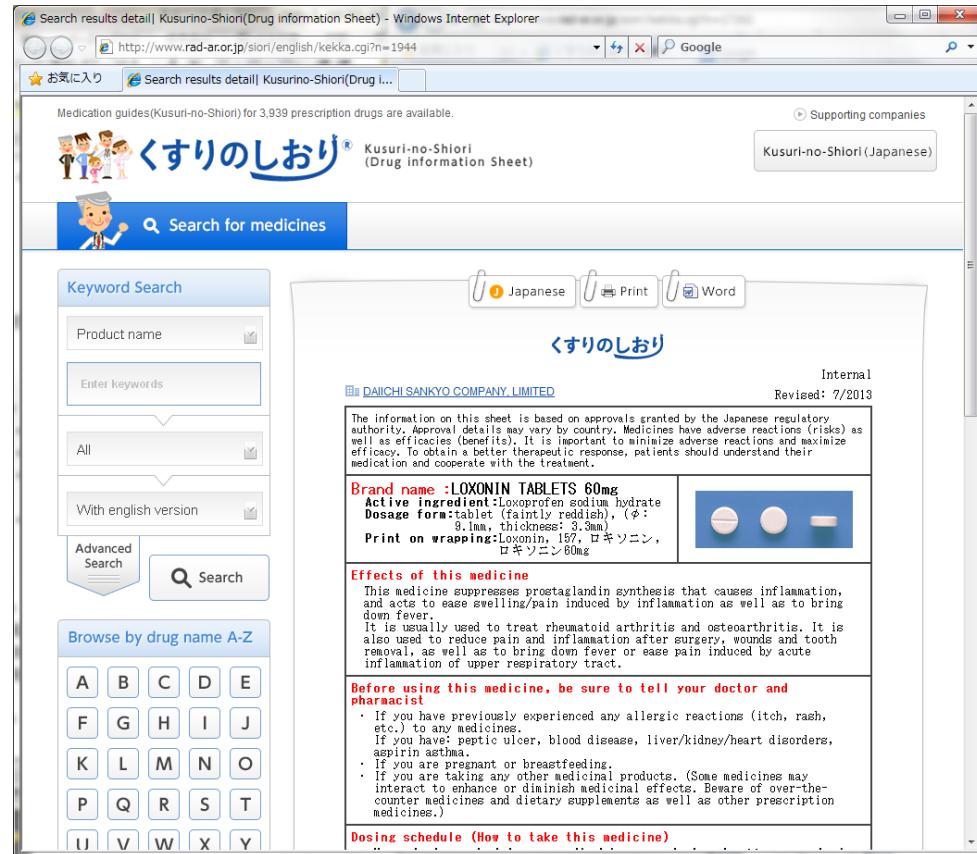
<http://www.rad-ar.or.jp/siori>

英語版「くすりのしおり」は、患者さん向けの英語版服薬説明書です。
2014年11月末現在、英語版3,919種類を掲載しています。

＜アクセス方法＞

1. 検索エンジンなどから「くすりのしおり」で検索
2. 製品名や主成分などを入力
3. 該当の医薬品を選択
4. 「英語版あり」をクリック

※英語名から調べたいときは、
<http://www.rad-ar.or.jp/siori/english/>から検索できます



The screenshot shows a search results page for 'Kusurino-Shiori'. The search term 'LOXONIN TABLETS 60mg' is entered in the search bar. The results list shows the product details: Brand name: LOXONIN TABLETS 60mg, Active ingredient:洛索洛芬钠, Dosage form: tablet (faintly reddish), (φ: 8.1mm, thickness: 3.3mm), Print on wrapping: Loxonin, 157, ロキソニン, ロキソニン 60mg. Below the product details, there is a section titled 'Effects of this medicine' which describes the medicine's action on prostaglandin synthesis and its use for pain and inflammation. There is also a 'Before using this medicine, be sure to tell your doctor and pharmacist' section with several bullet points about contraindications and interactions.